

日刊夕 日四十二月一

米不足完全に解消

郡市在米十九萬石

石城の豊作二十萬石を突破

石城郡に於ける昨秋の米の實收高は二十萬石を突破する種有の豊作であるが平市及び郡部の消費高より見れば尙ほ且つ六萬石を不足する現状の懸念が立てられる即ち、

同日最近の人口は平市を合せて二十四萬二千三百七十四人で一人當り一日三合づきの食米と見て七百二十七石一斗二升二合を要し一ヶ月二萬一千八百三十三石六斗六升の消費高に上る譯であるから一ヶ月の飯米要量二十六萬一千七百六十三石九斗二升に達し、

不良の徒を集めて 詐欺恐喝の暴力團

一味十數名平署に檢舉さる

せしめた炭金五百圓

石城郡赤井村の赤井宇不動堂一五無職齊藤信一(三)が村内に於ける流浪の徒をもつて暴力團をつくりこれを背景として常習の恐喝をなし平署に檢舉されたことは既報したが取

支那單語

おそいはまた慢とも稱してマン、圓は同一字の圓でユアン、四角いは方でファン、平たいはは平でピエン、甘いは甜でティエン、苦がいは同じ苦でク、辛らいは辣でラーと云

煙耕養鶏畜組合を 一丸とする産業團

石城郡泉村に於て計畫 舊村役場を事務所

石城郡泉村は地方に於ける農の業績は養鶏一萬羽、牛百五頭、馬百五十頭、豚三百頭あるが昨年からは耕作をはじめた煙草栽培にも力を入れ郡専平出眼所の増反計畫に本年は百五十名で二十町歩の耕作を目論見られてをり同耕作組合では昨二十三日日養鶏及び畜産組合の賛成を得て舊村役場

戦地の便り

郷土の發展を 何よりも嬉しく

吉田伴三

拜啓、皇紀二千六百年を迎ふるに當り、御慶びの御慰問状まことに有難く拝讀いたしました、小生恙なく新春を迎え得ましたことは皆々様の聞き事後のお慶りと御指導御鞭撻によるものと深く感謝いたし居る次第であります、昨年中の御無沙

今回進級轉屬致候

平市四丁目出身 新妻 章宏

拜呈、嚴寒の刷り皆々様如御御起居遊され候や定めし御捕へ御健勝に渡らせられ候御事と存じ上げ候、降て小生儀も至極元氣にて軍務に従事いたし居り候間他事ながら御放念下され度候、この度漸くにして進級(陸軍歩兵准尉)の上表記(轉屬)を命ぜられ候に付取敢へ御挨拶申上候、今後共よろしく御指導御鞭撻の程を御願ひ申上候、右簡單ながら御知らせ奉る御無沙汰の御詫びまで斯の如くに御座候 敬具

榮轉の立花氏は 明後朝に出發

平林産物検査所長立花種久氏の若松支所長轉任は別項の如く其の後任は浪江支所長が来ることになつてゐる立花氏は昭和八年五月木炭検査の縣營と同時に就任以來六年八月大沼、河沼、耶麻、北會津四郡と安積郡の一部をもつて若松行きも浪江から平の移りも共に榮轉で明二十五日浪江から着任と同時に事務引継を終る立花氏は二十六日午前警越東線で赴任の筈である

九百七十圓に 静岡大火義金

平愛婦が集めた平市愛婦分會が募集中である静岡大火見舞金は昨日までに八百餘圓に達し其の後の分左記の如く七百七十四圓と累計九百七十圓となつた

興亞の礎

石城郡出身勇士 野田勇藏一等兵、石城郡川部村出身、立花部隊に属し活躍されてゐたが名譽の戦傷で遂に死亡の旨二十三

思ひまゝに 出る 大森 勇

萬壽山の入口の門の處に猶犬が据えられてゐる。足の爪は四つあつて右の足で脚を掴んで、目玉は水晶だかガラスだかわからぬが光つてる。話の傳道に入るが猶犬はどつちが雄でどつちが雌かと云ふ議論で食卓會議に花が咲いた事がある。赤堀信平氏に依ればこゝは神社の守護神なのだから凡て男性である可

日原隊から發表、同君は平太郎(心)さん、すき(舌)さんの長男で實家には前記兩親のほか妹一人があり雜貨商を営んでゐる

片倉業手達優勝 賞を更生に寄附

平市片倉製糸の女工達は去る十一日から一週間の各工場對抗能率向上競技會で優勝し今井場長から贈られた金十二圓五十錢を共々、更生資金に寄附した

小名濱信用組合 長の後任

小名濱信用組合に於ける總會は既報の如く来る二十八日開かれるが役員の改選に長濱組合長が勇退するので町長小野晋平氏が推される模様である

林検査所長異動

縣林産物検査所支所長立花種久氏は若松支所長に榮轉し其の後任は浪江支所長日江劍二氏が榮轉する

大浦警防團長 職後任決定

石城郡大浦村の警防團長渡邊氏は本則だ。その中警女の山口先生の意見も求め度いと思つてる。閑話休題本論に立ち歸る。徳和園には大戲台があつて芝居を演じた處である。天井は谷口の節の間や性源寺の天井の如く、四尺四方位に區切られてゐる。區切りの中には委く壽と云ふ字が書いてある。御殿の中に西大后の直筆の壽と書いた掛け物がかゝつてる。舞台の正面に西大后が觀劇された座席がある。榮鏡登瀛と書いてある。うしろに御立が立つて、その高さ約一丈、孔雀が書いてある。

木炭自動車取扱 指導講習會

縣保安課では木炭自動車の取扱講習會を来る二十八日午前八時から平市に於て開催する

火防に水桶備付

石城郡四倉町警防團では最近同地方に於ける頻々たる火災に殊に同町が水不足の折柄火災豫防に心を注ぎ町内各戸に對し水桶一個以上の満水備付けを督促した

四倉信用の總會

石城郡四倉町の信用販賣購買組合では来る二十八日第十九回通常總會を開き役員の改選を行ふ

文魁文堂

本店 文魁文堂 一本金五拾圓以上 シヤープペンシル 品ホシエスを御指名願 上げます。御進物としては立派な化粧箱を用意して御座 います。


桑樹の蔬菜的栽培方法

桑樹の蔬菜的栽培方法 (上)

從來桑園の栽培は完全に伸育させてこの摘葉でもつて金銀粉と輝かせる質効を見るまでには三年乃至四年の年月を要するので昨年のやうに一千圓台を大突破する爆發的な糸價高時代が來てその波に乗つて直ちに桑園の栽培を開始しても質効を現はすまで其の養蠶景氣が持続するや否やは頗る疑問とされ養蠶家すべてが國を挙げての繭増産時代にあつても尙ほ桑園の擴張を逡巡してゐる傾向がある、これが爲め埼玉縣熊谷養蠶試驗場栽培部の中村重太郎技手は桑樹をチユリツツ、ヒヤシンスの球根の如く年々植替へ養蠶景氣の低調な時代には畑の隅に一括保存し季節に入つてまた植を付けをなすししかもその間晩秋から春にかけては其の桑園に夢の栽培が出来ると云つた、いわゆる桑樹の蔬菜的栽培方法を研究中であつたが昨年秋これを完成して養蠶能率、實施方法等各方面にわたつて検討を進めた結果、絶對的自信を得るに至つたので昨十四年十一月下旬から十二月初旬にかけて縣下各地に養蠶高等講習會を開催し一般に普及徹底せしめるとともにこれを全國に發表して繭増産政策上最も重大な桑樹栽培に革新をもたらしたのが試みの養蠶家委託試験による質効は

魯桑の質生、改良戻返し二尺前後の小苗を昨春四月來島二尺畝の間に置く

貯蓄は無盡で



無盡城無盡

スペイン GHN 元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒
御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
(平二) 西村屋薬舗 (電三)

お醤油は ヤマフル

醤油、味噌、たひら、正宗、鮮節、食料品

明治生命製糖代理店 山崎與三郎

山崎合名會社
電話 本営業部 二七〇番

内科、小兒科
大森醫院
醫學士 大森勇
平市南町 電話二五八番

カバと洋品類
眞砂屋 (電話五六五)



産科 醫學博士
婦人科 五十嵐雄二
病室増築、手術室完備
平市新川町 電話三六九番

債券、公債 多田井質店
平市大工町 電話五九一番

便利で 日下家政婦會の
派出婦を御利用下さい

日下家政婦會
會長 日下すい子

不思議の妙藥
禁煙 ニコチロン
是非御使用を御勧め致します

山野邊藥局

平病院 (平市元共済病院跡)
電話 六四一(番)


院長 醫學博士 鈴木定藏

内科 鈴木定藏
小兒科 鈴木定藏
外科 鈴木定藏
皮膚泌尿器科 鈴木定藏
物理療法科 鈴木定藏
藥劑科 鈴木定藏

診療時間 毎日午前八時より午後九時まで
夜間診療に依り急患は此の限りにあらず

内科、小兒科、外科、花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科
高久病院
院長 醫學士 高久忠

高久病院



皮膚泌尿器科
性病科
院醫尻江
醫學博士 江尻伊三郎
平市田町 電話六九一(番)

平田町 (三丁目裏川岸通)
明雲堂眼科醫院
電話 六六九番
入院應需 自炊の便あり